

平成20年度前期 学生による授業評価アンケート集計結果概要について

滋賀県立大学では、学生の皆さんの協力の下に平成16年度前期の授業から学生による授業評価アンケートを実施してきました。

このたび、平成20年度前期のアンケート集計結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

1. アンケート実施概要

(1) 目的

授業評価アンケートは、次の①～③を基本原則とし、本学の教育の質・教育効果を向上させることを目的として実施した。

- ① カリキュラムの改善につなげる
- ② 授業改善につなげる
- ③ 透明性を高める

(2) 実施期間

平成20年7月9日(水)から平成20年8月5日(火)まで (※ 集中講義は別途)

(3) 実施科目

アンケート実施率は80.7%(昨年度同期80.4%)で、回答率は73.5%(昨年度同期69.9%)であった。

科目区分	開講科目	アンケート実施科目				※ 昨年度回答率
		科目数	受講登録者数	回答数	回答率(%)	
環境科学部	111	91	4,572	3,110	68.0%	64.1%
工学部	81	80	5,127	3,859	75.3%	68.0%
人間文化学部	116	71	5,022	3,666	73.0%	70.4%
人間看護学部	49	39	2,124	1,952	91.9%	93.7%
国際教育センター	32	30	624	531	85.1%	80.8%
人間学	25	23	2,603	1,636	62.9%	59.2%
合計	414	334	20,072	14,754	73.5%	69.9%

※ 人間看護学部、国際教育センターについては、大学院科目(計4科目19人)を含む。

(4) 設問内容

設問1 この授業にどれだけ出席しましたか

- ①4回以上欠席 ②3回欠席 ③ 2回欠席 ④1回欠席 ⑤すべて出席

設問2 あなたは平均すると1週間にどれぐらい勉強していますか

- ①0時間 ②0～5時間 ③5～10時間 ④10～15時間 ⑤15時間以上

設問3 この授業のための学習に毎週どれだけの時間を使っていますか

- ①0分 ②0～30分 ③30分～1時間 ④1～2時間 ⑤2時間以上

設問4 授業の内容は、興味のもてるものでしたか

- ①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

設問5 授業の内容は、理解できましたか

- ①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

設問6 授業で扱った内容をより深く学びたい気持ちになりましたか

- ①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

- 設問7 この授業は、履修の手引きと内容が一致していましたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う
- 設問8 教員の教え方は適切でしたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う
- 設問9 教員の教え方で優れていたところはどこですか(複数回答可)
①学生とのコミュニケーション ②授業の組立 ③テキスト・資料等の教材
④板書・スクリーン等 ⑤話し方・声の大きさ 0:特にない
- 設問10 教員の教え方で工夫すべきところはどこですか(複数回答可)
①学生とのコミュニケーション ②授業の組立 ③テキスト・資料等の教材
④板書・スクリーン等 ⑤話し方・声の大きさ 0:特にない
- 設問11 この授業の満足度は、どの程度になりますか
①とても低い ②やや低い ③普通 ④やや高い ⑤とても高い
- 設問12 (選択科目の場合のみ)この授業を履修した動機は何ですか(複数回答可)
①単位が取れそうだから ②友人が取ったから ③時間割の都合
④専門性向上・資格取得のため ⑤興味・関心があったから 0:その他
- 設問13 (語学・情報系科目のみ)この授業を通じてどの程度の力が身につくと思いますか
①全く身につかない ②あまり身につかない ③どちらともいえない
④ある程度身につく ⑤とても身につく

※ このほかに自由記述あり

2. アンケートの集計結果

(1) 平均ポイント (学部等別)

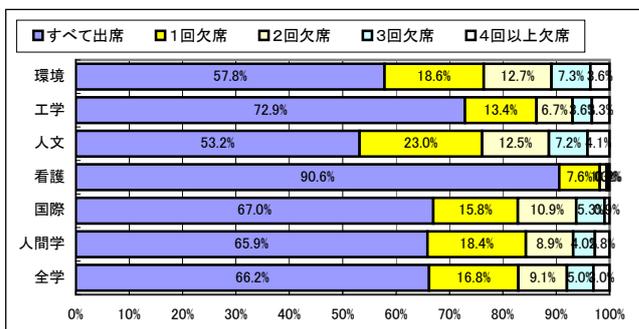
アンケート項目	今年度							昨年度
	環境	工	人文	人看	国際	人間学	全学	全学
Q1.授業への出席	4.2	4.5	4.1	4.9	4.4	4.4	4.4	4.3
Q2.1週間の平均学習時間	2.5	2.5	2.4	2.9	2.4	2.4	2.5	2.5
Q3.この授業に対する学習時間	2.2	2.1	1.8	2.4	1.5	2.0	2.0	2.1
Q4.授業の内容への興味	3.6	3.4	3.6	3.9	4.1	3.4	3.6	3.6
Q5.授業の内容の理解	3.3	3.2	3.4	3.7	3.9	3.4	3.4	3.4
Q6.より深く学びたくなったか	3.4	3.2	3.5	3.9	3.8	3.4	3.5	3.5
Q7.履修の手引きとの一致度	3.5	3.4	3.5	3.7	3.8	3.5	3.5	3.5
Q8.教員の教え方は適切か	3.5	3.4	3.6	3.9	4.0	3.5	3.6	3.6
Q9.教え方で優れていた点	—	—	—	—	—	—	—	—
Q10.教え方で工夫すべき点	—	—	—	—	—	—	—	—
Q11.授業の満足度	3.4	3.3	3.5	3.8	4.0	3.3	3.5	3.5
Q12.履修の動機(選択科目の場合)	—	—	—	—	—	—	—	—
Q13.どの程度身についたか	—	—	—	—	4.1	—	—	—

※ Q9、Q10およびQ12については、ポイント評価でないため平均ポイントは示していない。

全学平均で昨年度同期で0.2ポイント以上変化のある項目はなく、概ね昨年度同期と同じ傾向でした。

(2) 項目別結果 — 学部等別 —

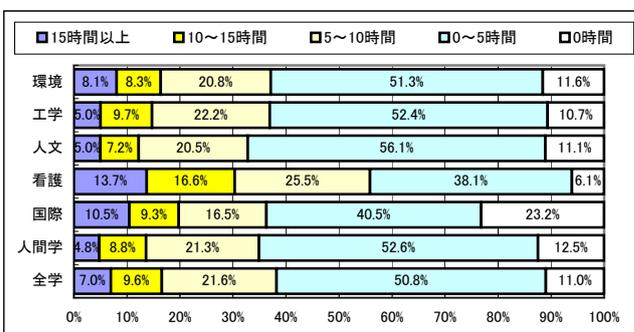
設問1 この授業にどれだけ出席しましたか



「すべて出席」とする回答が、すべての区分で50%以上となっているほか、全学ポイントも昨年度同期63.8%→66.2%となるなど、アンケート結果からは出席状況は良いと思われる。

ただし、約4分の1の学生からアンケート未回収であること、毎期の欠席不可が概ね10%あまりあることに鑑みると、アンケート結果をそのまま本学の実態として受けることはできないと思われる。

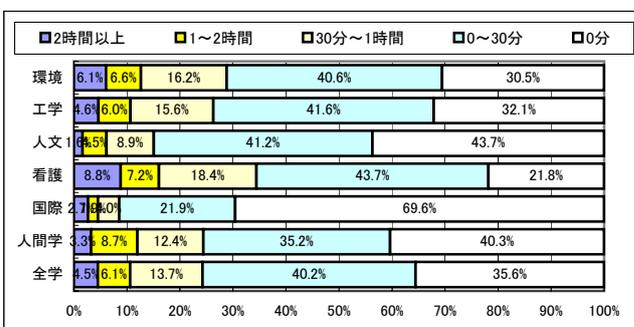
設問2 あなたは平均すると1週間にどれぐらい勉強していますか



平均して1日1時間程度学習している学生は3分の1程度で、単位の実質化の観点からは十分とは言えないと思われる。

昨年度同期との比較では、特に人間看護学部で「15時間以上」とする回答が、33.2%→13.7%と半減している。

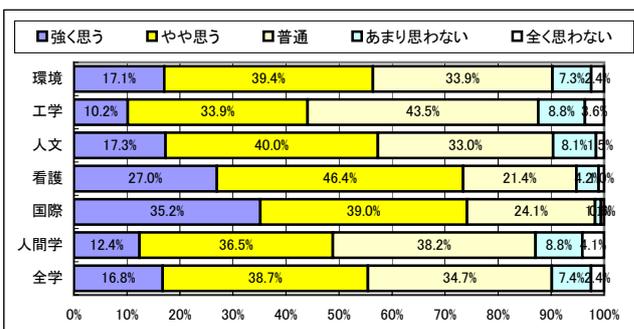
設問3 この授業のための学習に毎週どれだけの時間を使っていますか



授業に対する学習をまったく行っていないとする回答が3分の1以上あり、昨年度同期と同じ結果となっている。

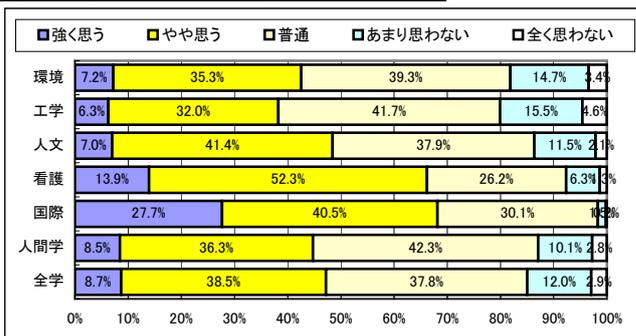
国際教育センターに「0分」とする回答が多くなっているが、アンケート対象科目の多くが健康・体力であるためと思われる。

設問4 授業の内容は、興味のもてるものでしたか



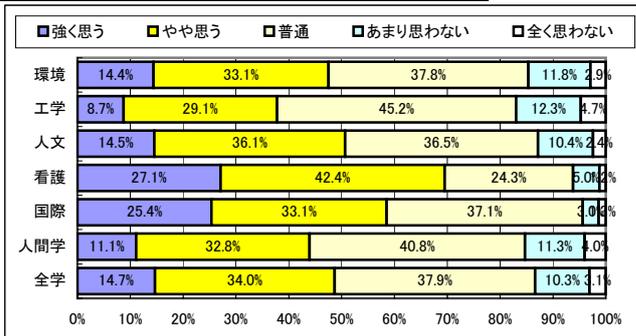
昨年度同期と概ね同様の結果となっている。否定的な回答は約10%程度となっている。

設問5 授業の内容は、理解できましたか



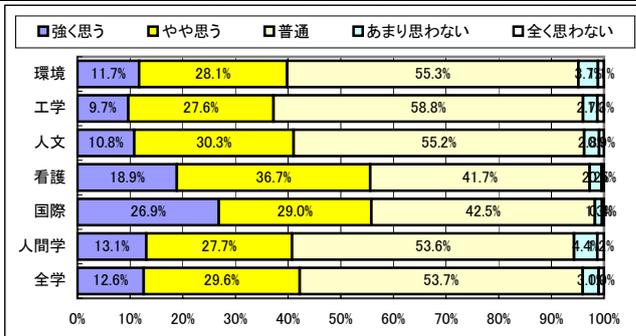
「強く思う」「やや思う」とする回答割合は、昨年度同期とほとんど変わらない。また、否定的な回答の割合もほとんど同じであった。

設問6 より深く学びたい気持ちになりましたか



この設問についても、昨年度同期とほとんど同じ回答割合であった。

設問7 この授業は、履修の手引きと内容が一致していましたか



全体的な傾向としては、わずかではあるが昨年度同期より評価が低くなっている結果となった。

※ 「強く思う」「やや思う」の割合

環境:44.3%→39.8%

工学:40.7%→37.3%

人文:47.2%→41.1%

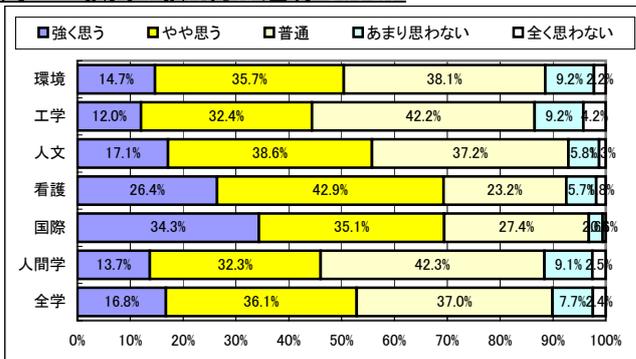
看護:56.8%→55.6%

人間学:41.2%→40.8%

全学:45.8%→42.2%

履修の手引きに記載する情報は年々充実させてきているため、学生が授業内容を予測することが容易になってきているので、その分だけ手引きと授業内容とのズレに敏感になってきているのかもしれない。

設問8 教員の教え方は適切でしたか



昨年度同期とほとんど同じ結果となった。

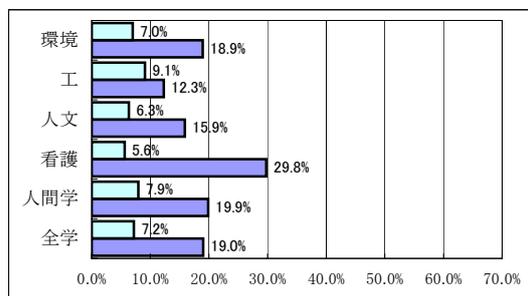
本学では昨年度末に教育実践支援室が設置され、今年度から本格的なFD活動が推進されているので、これらの成果が結果として現れることを期待したい。

設問9 教員の教え方で優れていたところはどこですか(複数回答可)

設問10 教員の教え方で工夫すべきところはどこですか(複数回答可)

① 話し方・声の大きさ

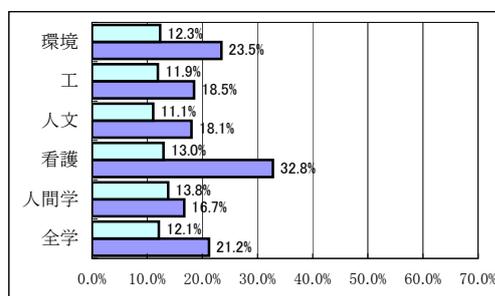
□工夫すべき
■優れていた



前年度同期との比較では、「優れていた」とする回答が減っているが、「工夫すべき」とする回答が大きく減っている。

② 板書・スクリーン等

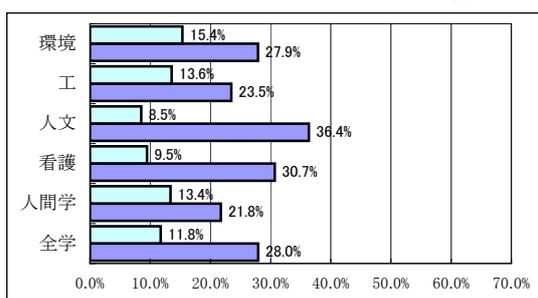
□工夫すべき
■優れていた



昨年度同期は、「優れている」よりも「工夫すべき」とする回答の方がやや多かったが、今期すべての区分で「優れている」とする回答が多くなっている。

③ テキスト・資料等の教材

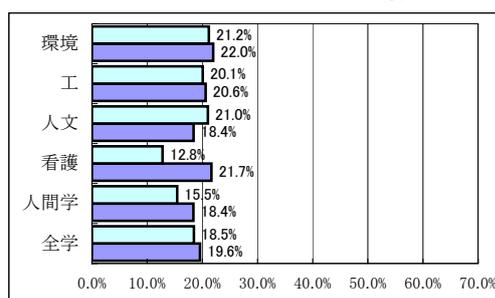
□工夫すべき
■優れていた



多くの項目で人間看護学部のポイントが最も高くなるなか、この設問は人間文化学部のポイントが最も高く評価されている。

④ 授業の組み立て

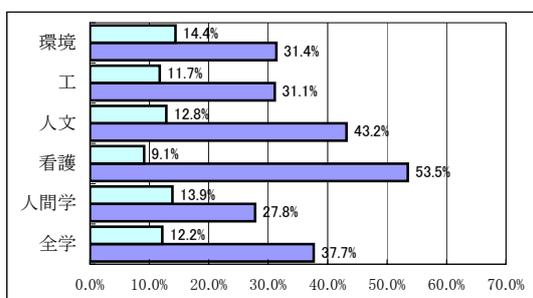
□工夫すべき
■優れていた



昨年度後期と同様に、この項目だけ「優れている」と「工夫すべき」とがほぼ同じ回答となっている。このことは、学生は一概に否定しているのではなく、一定の理解のもとに「もっとこうしたらわかりやすいのに」と感じていると理解することはできないであろうか。

⑤ 学生とのコミュニケーション

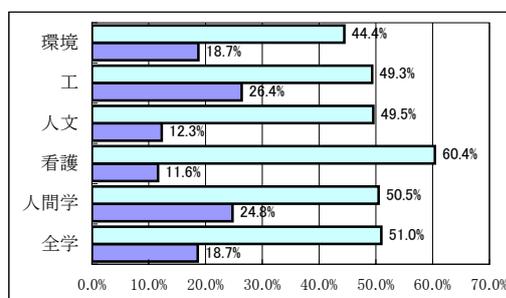
□工夫すべき
■優れていた



学生とのコミュニケーションは、引き続き良好な関係が維持されている。

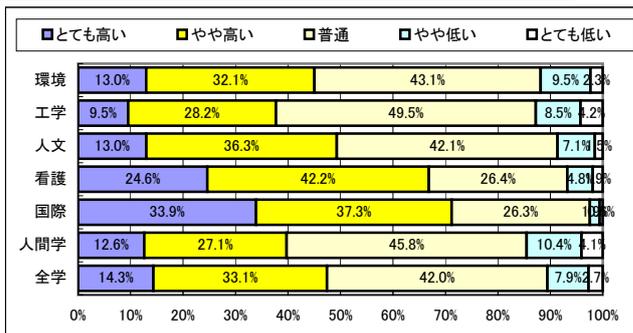
⑥ 特にない

□工夫すべき
■優れていた



昨年度同期と比べ、「特になし」とする回答が4学部とも5%程度高くなっており、全体的な底上げがはかられていると思われる。

設問11 この授業の満足度は、どの程度になりますか

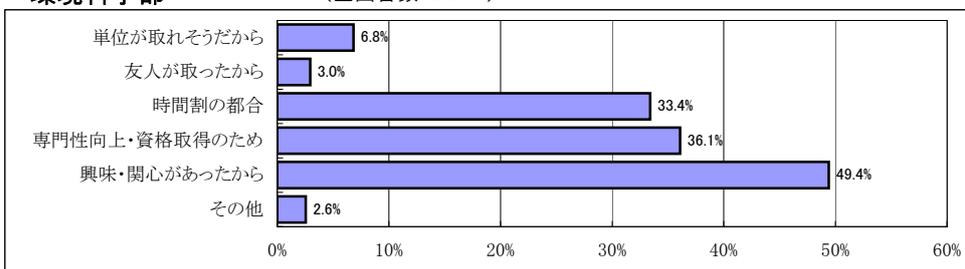


昨年度同期とほぼ同じ回答状況であった。

設問12 (選択科目の場合のみ)この授業を履修した動機は何ですか(複数回答可) (単位:%)

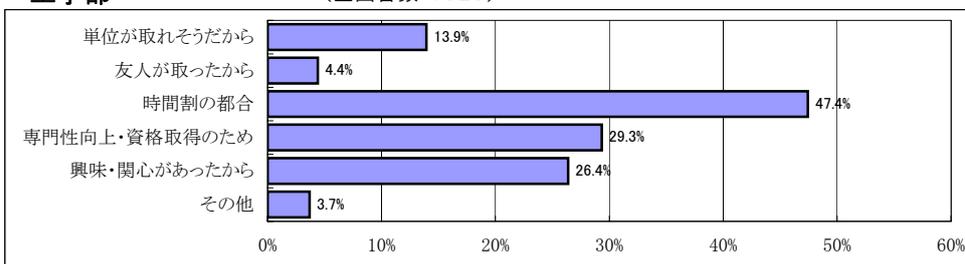
環境科学部

(全回答数:2269)



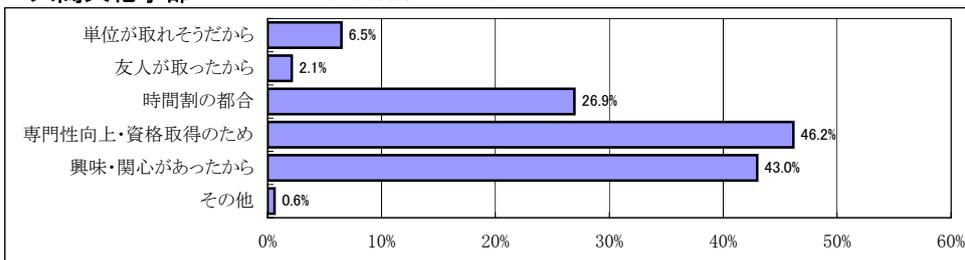
工学部

(全回答数:1520)



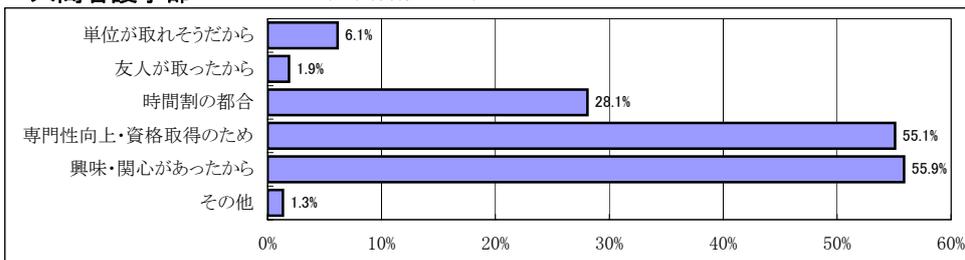
人間文化学部

(全回答数:3315)



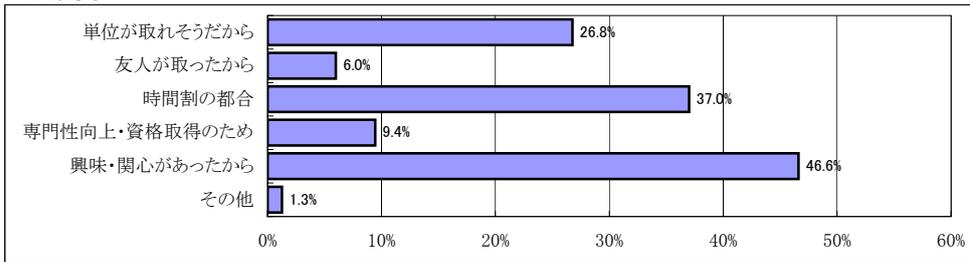
人間看護学部

(全回答数:374)



人間学

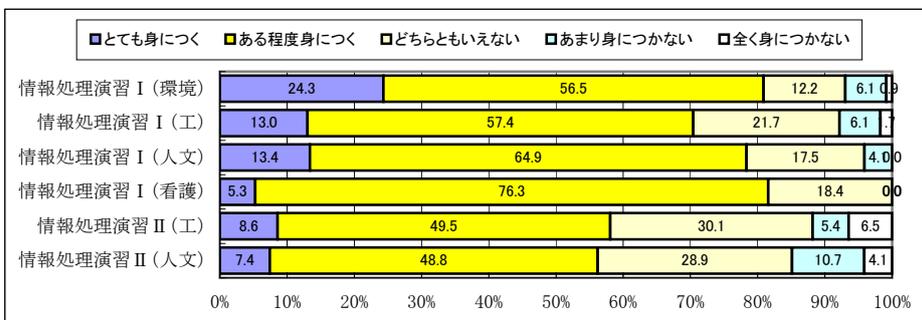
(全回答数:635)



全体的な状況として、「単位が取れそうだから」とする安易な選択は比較的少なく、専門性の向上や興味・関心に基づき選択している傾向が伺われる。

人間学については、「単位が取れそうだから」「時間割の都合」とする回答が比較的多くなっている。

設問13 (語学・情報系科目のみ)この授業を通じてどの程度の力が身につくと思いますか



情報は必修科目であるが、情報 I に比べ情報 II が評価が低くなっており、その原因を探る必要があると思われる。

今回お知らせするこの結果が、皆さんの今後の学習を進める上での参考になれば幸いです。

なお、授業評価アンケートでは、裏面に自由記述欄を設けていますので、授業を受けて感じたこと、疑問、意見など、今後も積極的に記入してください。